



芋の収穫祭実施

支部創設以来初めての取組みとして、農業体験（芋の収穫祭）を空澄み渡る十月二十日（日）に実施しました。

黒田副支部長ご夫妻による苗植えから当日の食事準備までのご尽力により、参加した十家族二十三名は貴重な体験をし、有意義なひと時を過ごしました。

おいもをカゴに入れたらとても重たくてぜんぜんもでませんでした。おいも一つはとてもかるいのにたくさんしゅうかくしたので、とても重かつたです。とてもつかれました。来年はお母さんやお父さん、妹二人もつれておいもをほりたいです。たのしかったので、また来年もやりたいです。

(松田副支部長のお孫さん)

前回の晩は下呂温泉で宿泊する家族もおり、当日の盛大な全国の集いを通して、それぞれが思い出の一ページを飾ることができました。

**全国の集い
イン名古屋**



全国の集いに参加して

福文部長 桜田 勇（十二期）

昨年九月、全国の集いが名古屋で開催され、台風の影響で参加できなかつた九州方面の方々もおられましたが、全国から総勢約百四十余名結集し、盛大にとり行われました。

我が下関市大同窓会も五十年といふ半世紀を数え、同窓生の広がりを感じたところです。



アトラクションの都踊り

～組織強化への道～



の後いかがお過ごしで、
平成二十九年度の支部活動は、お
陰様で皆様の格別のご支援により順
調に推移しました。心から厚くお礼
申し上げます。

春爛漫、躍動感あふ
れる新年度を迎えまし
た。会員の皆様は、そ

「組織強化」は、喫緊の課題で永続的なテーマです。その土台となる「組織の骨格づくり」に新体制発足後、鋭意努めてきました。現時点ではほぼ目標達成の感がいたします。

今後は、各組織が「新規会員獲得」を目指してフル活動するか否かにかかるっています。幹事の方にはご負担をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただき、一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。執行部も、可能な限り肌理の細かい対応をいたします。

平成二十九年度の支部活動は、お陰様で皆様の格別のご支援により順調に推移しました。心から厚くお礼申し上げます。

「組織強化」は、喫緊の課題で永続的なテーマです。その土台となる「組織の骨格づくり」に新体制発足後、鋭意努めてきました。現時点ではほぼ目標達成の感がいたします。

今後は、各組織が「新規会員獲得」を目指してフル活動するか否かにかかるっています。幹事の方にはご負担をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただき、一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。執行部も、可能な限り肌理の細かい対応をいたします。

平成二十九年六月十七日（土）
午後六時から島根支部の総会をホテル一畑（松江市）で開催しました。



縣志



下關市立大学同窓会

事業】【女性部・青年部交流】を更に推進します。

平成二十六年度に「全国の集い」を当支部で実施して以降、活動に追い風が吹き、本部の当支部に対する認知度もアップしています。この機運を大切に、更なる前進を図ります。

事業報告・決算、事業計画・予算等、上程した議案が全て承認され、懇親会で盛り上がりました。

今年度は、特に新規会員の更なる獲得を目指すため、八名の組織強化担当者に委嘱状を交付しました。

事業】【女性部・青年部交流】を更に

なりました。

大学の理事長、学長の話の中で、昔と違った大学の内情、また将来的に単科大学から総合大学への昇格等、母校の変化・発展には驚くばかりでした。

今年の全国の集いは、四国高知県で七月七日の七夕の日に開催される予定です。織姫と彦星のように、全

国の旧友・先輩・後輩と年一回の再会を楽しみにしています。

島根支部の皆様に是非多くの参加を望むところです。



会場（キャッスルプラザ）前で記念撮影

人の輪広がる交流会活動！

島根支部は、昨年度から組織の維持・拡大の一環として、各種交流会活動を実施しているところです。今年度は、新たに立ち上げた青年部の交流会を初め三つの交流会を実施し、新規会員獲得にもつながりました。

青年部交流会

【組織強化青年部担当】

幹事 矢野 哲也（三十九期）

平成二十九年度の支部総会において「青年部」が発足し、記念すべき第一回目の「青年部交流会」が七月二十六日（水）に松江市で開催されました。当日は平日にもかかわらず、澄田支部長他三名の役員の皆様と私の同期二名（引野さん、河原さん）及び私の弟（四十六期）の合計八名が参加しました。

含め、総勢六名の参加で開催されました。冒頭、澄田支部長より活動の経過、支部の運営方針、今後の予定、本部の動向等についての報告があり、その中で若年層の会員加入が喫緊の課題である旨の説明がありました。

当初、参加予定の若い新規会員の一名が都合で参加できなくなり、少

人数での会となりましたが、色々な意見交換ができる場でもあり、楽しく意義ある時間を過ごすことができました。



西部地区会員（前列）と役員（後列）

西部地区交流会

【組織強化西部担当】

幹事 佐々木伸也（二十三期）

今後も、まずは同期、そして前後の期の友人や知人へと輪を広げ、少しずつではありますが、会員の拡大に向け、微力ながら貢献していければなりました。

西部地区交流会が、澄田支部長、黒田副支部長、藤江事務局長の三名を

緊張した面持ちでのスタートとなりましたが、役員の皆様の優しいリードと酔いの進行により、下関の地での思い出話から近況に至るまで様々な情報交換を行い、とても有意義な時間を過ごすことができました。

大学卒業後十三年が経過し、弟はともかくとして、同期二人とは疎遠になってしまった中で、今回の交流会は再び結びつきを強める絶好の機会となりました。



西部地区会員（前列）と役員（後列）



新規会員3名を歓迎（左側前から）

ばと思っています。市大卒業生の皆様、年に一度の総会やこうした交流会を再開の場、または新たな出会いの場として活用してみませんか。

memo

新規会員紹介コーナー

今年度1年間、島根支部に加入された皆さんを紹介します。
今後は皆さんの若い力で会に新風を吹き込んでもらいたいと思います。期待しています。

野津昭文さん（36期）、河原裕之さん・引野健一さん（39期）、矢野俊之さん（46期）、村滝智大さん（49期）、多々納和弘さん（51期）

女性部・青年部交流会

女性部 野津 織恵（三十七期）

今年の二月十一日、女性部・青年部交流会が開催されました。

降雪の大変な時期でしたが、支部長、役員の方々を初め、五十一期の青年部二名、三十七期の女性部三名が参加いました。

初めての合同開催でしたが、通常

女性部三名の会から二名増えるだけで会の雰囲気も変わり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

一年間の経過報告、今後の活動について話を伺い、中でも会員増強については、組織の強化・活性化につながる事として、改めて認識させられました。

未加入の卒業生に活動を知つてもううこと、また同窓会が魅力を感じてもらえるような会であるためには、まずは会員が積極的に事業へ参加し、



支部旗をお披露目した交流会風景

会員同士の交流を深めていけたいなと思いました。

【編集後記】
この度、広報誌三号を発刊することができました。今号も多くの皆様からご寄稿いただき、ありがとうございました。
今後も、皆様にはご寄稿をお願いしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。
支部総会は六月十六日（土）、出雲で予定していますので、ご参加ください。

（事務局 藤江）